



福岡医発第 1011 号 (地)
令和 5 年 7 月 12 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 蓮 澤 浩 明
(公 印 省 略)

後期高齢者健康診査の受診率向上に向けた取組について

時下 貴職ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、福岡県後期高齢者医療広域連合（以下、「広域連合」）では、生活習慣病の早期発見に加え、フレイル予防を目的に後期高齢者健康診査（以下、「健診」）を実施しておりますが、本県の受診率は全国に比べ著しく低い状況であることから、広域連合では、健診に関する啓発、健康状態不明者への取組、健診検査項目の充実及び特定健診・がん検診との同時実施等、健診受診率向上に向けた取組が行われているところです。

今般、広域連合より、さらに多くの被保険者に健診を受診していただけるよう、かかりつけ医から健診未受診者への受診勧奨について依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 淡河喜雄
会長 島田昇二郎

公益社団法人福岡県医師会
会長 蓮澤 浩明 様

福岡県後期高齢者医療広域連合
広域連合長 月形 祐二

後期高齢者健康診査の受診率向上に向けた取組みについて（依頼）

平素より当広域連合の事業に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。
さて、当広域連合では、生活習慣病の早期発見に加えフレイル予防を目的として、後期高齢者健康診査を実施しております。

福岡県の後期高齢者健康診査の受診率は、全国に比べ低い状況にあります。そこで、当広域連合では、健診に関する啓発や健康状態不明者への取組み、健診検査項目の充実、特定健診・がん健診との同時実施等、健診受診率向上に向けた取り組みを行っているところです。

今後、更に後期高齢者の方々に健康診査を受診していただけるよう、貴医師会の先生方から、75 歳以上でまだ後期高齢者健康診査を受診してない患者様へ受診を勧めていただきたくお願い申し上げます。

記

- 1 事業名
後期高齢者健康診査
- 2 現状・課題
別紙のとおり
- 3 依頼内容
 - ①貴会員への周知
 - ②かかりつけ医から患者様への後期高齢者健康診査の受診勧奨
- 4 参考資料（別添）
後期高齢者健康診査質問票
後期高齢者健康診査のご案内（チラシ）
※案内チラシは福岡県後期高齢者医療広域連合ホームページからダウンロードできます。

《お問合せ先》

〒812-0044

福岡市博多区千代四丁目1-27 福岡県自治会館5階

福岡県後期高齢者医療広域連合

健康企画課健康企画係 永尾

電話 092-707-3029

FAX 092-651-3120

メール tekisei@fukuoka-kouki.jp

後期高齢者健康診査の受診率向上を目指します。

後期高齢者健康診査は、生活習慣病の早期発見に加え、健診と質問票によるフレイルチェックを行い、必要に応じて医療や介護予防等につなげることを目的としています。

◎ 健診結果及び質問票から

- 必要な人（未受診者や治療中断者等）を医療につなげる
- 生活習慣病治療中の方も保健事業や介護予防事業、かかりつけ医等による医療を組み合わせ、フレイルのおそれのある高齢者を包括的に支援していく
- 質問票を用いた情報収集により、健康状態を総合的に把握し、支援対象者の抽出や高齢者のフレイル予防に対する関心を高め、生活改善を促していく

◆ 医師会の先生方をお願いしたいこと

かかりつけ医から患者様へ、健診受診を勧めていただきますよう、
よろしくお願いいたします。

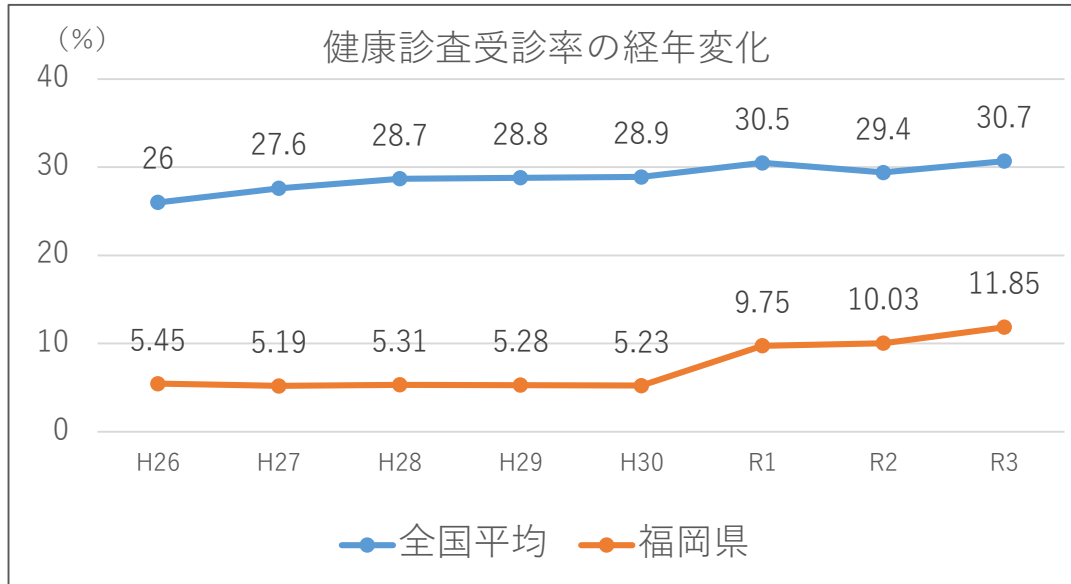
後期高齢者健康診査の受診率向上を目指します。

1 後期高齢者健診の現状と課題

現状

- ・一人当たりの医療給付費や介護給付費が高い
- ・健康状態不明者(医療・健診・介護サービスにつながない者)が約3.5万人いる
- ・治療中断者が約6.6万人いる

全国に比べて受診率が低い



2 福岡県後期高齢者医療広域連合の取組み

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施の取組み

- ・市町村の国保部署と介護部署等が連携し、保健指導等の保健事業と通いの場等の介護予防を一体的に実施することで、高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな支援を行う

○健診に関する啓発

- ・ホームページや広域連合・市町村広報誌への掲載、講演会での周知
- ・医療機関に配布する保険証更新案内ポスターへの掲載 等

○その他住民サービスの向上

- ・利便性の向上
(市町村が実施する特定健診・がん健診との同時実施の呼びかけ)
- ・健診検査項目の充実
(血清アルブミン検査、貧血検査を追加(R5年度～))
- ・対象者拡大
(R元年度～生活習慣病治療中の方、R4年度～有料老人ホーム・軽費老人ホーム入居者)

後期高齢者健康診査質問票

健診日	年 月 日	氏名		電話番号 (日中に連絡可能な番号)	
受診票整理番号			被保険者番号		

事前に回答欄(太線内)に、受診者本人の状況に該当する番号に○をつけてください。

	質問文	回答
1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない
2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満
3	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ
4	半年前に比べて固いもの(*)が食べにくくなりましたか *さきいか、たくあんなど	①はい ②いいえ
5	お茶や汁物等でむせることがありますか	①はい ②いいえ
6	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	①はい ②いいえ
7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい ②いいえ
8	この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ
9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい ②いいえ
10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがある と言われているですか	①はい ②いいえ
11	今日が何月何日かわからない時がありますか	①はい ②いいえ
12	あなたはたばこを吸いますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた
13	週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ
14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい ②いいえ
15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい ②いいえ

後期高齢者健康診査のご案内

健診は1年に1回、からだをチェックする機会です。
持病の重症化を予防し、フレイル（加齢により心や
身体が弱っている状態）の芽をつみとりましょう。



- 後期高齢者医療の被保険者の方は、500円で受診できます。
（通常約 9,000 円の検査が 500 円になります。）
- **令和5年4月1日より、血液検査の血清アルブミンと貧血検査が追加となりました。**
〔 認知機能の低下や骨粗しょう症のリスクを高める低栄養状態と貧血の
早期発見につながります。 〕
- 必要時にはかかりつけ医の指示のもと、市町村の保健師や栄養士による保健指導やフレイルの相談を受けることができます。



健康診査を受けるには・・



- ※ 健康診査の受診票は、福岡県後期高齢者医療広域連合から対象者の方に送付しております。（長期入院及び一部の施設入所中の方は除きます。）
- ※ 健康診査を受診する時は、「被保険者証」「受診票」「500 円」が必要です。

【問合せ先】 福岡県後期高齢者医療広域連合 お問い合わせセンター
福岡市博多区千代4丁目1番27号 TEL 092-651-3111

健康診査でわかること



項目

ポイント

問診	「後期高齢者の質問票」 質問票でフレイルの危険性を確認できます。
身長・体重	「肥満より、やせに注意」 やせはフレイルをまねきます。
栄養・貧血 ●血清アルブミン ●ヘマクリット値 ●血色素量 ●赤血球数	「低栄養や貧血に注意」 低栄養や貧血は、身体的活動を低下させ、認知機能の低下や骨粗しょう症のリスクが高まります。
血圧・脂質 ●コレステロール ●中性脂肪	「脳卒中や心筋梗塞の危険性」 高血圧や脂質異常は動脈硬化につながり、脳卒中や心筋梗塞などをまねきます。
糖 ●空腹時 ●HbA1c ●尿糖	「糖尿病の重症化に注意」 糖尿病の危険度を調べます。 血糖が高いと糖尿病のおそれがあります。
肝機能 ●AST ●ALT ●γGTP	「お酒だけでなく、薬の副作用の可能性も」 肝臓の機能をチェックします。たくさんの薬の服薬による副作用で、肝臓に負担がかかります。飲酒しない人も注意が必要です。
腎機能 ●クレアチニン値 ●尿蛋白 ●尿酸	「最悪の場合、人工透析に」 腎臓の機能をチェックします。 糖尿病や高血圧の人は特に注意が必要です。

後期高齢者健康診査では、フレイルリスクを確認できます。

☐	6ヶ月間で、2～3Kg以上の体重減少がありましたか
☐	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか
☐	この1年間に転んだことがありますか
☐	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか
☐	週に1回以上は外出していますか

チェックしてみましょう

フレイルに関する項目です。
フレイルの可能性のある人も早期に対応することで、元の状態に戻れます。

「後期高齢者健康診査質問票」より一部抜粋

発熱時や体調不良時は、健康診査の受診はお控えください。

